



### 正しく知ろう認知症

**認** 知症サポーター養成講座が大石田中学校で1年生60人を対象に11月15日（木）に行われました。これは生徒たちに認知症について理解を深め、地域や家庭において認知症の人を温かく見守ってもらうことを目的に町と地域包括支援センターが開いたものです。

講座では町保健師が認知症は脳の病気であることや単なる物忘れと認知症の違い、認知症の症状を説明しました。その後、生徒が認知症の高齢者とその家族の役に分かれてロールプレイングが行われ、認知症の方への接し方について理解を深めていました。

### 親子一緒に陶芸体験

**親** 子陶芸体験教室が次子窯で11月18日（日）に行われ、町内の親子連れ11人が陶器づくりを楽しみました。これは大石田町総合体験活動事業の一環として行われたもので、参加者は次子窯の高橋廣道さんから粘土の扱い方を教わり、思い通りにならない粘土にてこずりながらも親子で協力して皿やカップを作りました。

参加した小学生は「思ったように作れなかったのでまた挑戦したい」と話し、一緒に参加した保護者も「子どもと相談しながら作ることができて楽しい時間が過ごせました」と話し、それぞれに陶芸の楽しさを見つけていました。



### プロジェクト「虹」第1回公演

**新** たに結成された演劇団体「プロジェクト『虹』」（織江尚史代表）の第1回公演「虹を呼ぶひと」が11月18日（日）に虹のプラザ多目的ホールで上演されました。これは昨年、山形県民芸術祭開幕記念公演として虹のプラザで披露された総合舞台を、演劇主体の舞台としてリニューアルしたもので、町芸術祭のプログラムの一環として上演されました。

劇には小学生から大人まで多くの町民が出演し、クライマックスでは雪国鷹巣太鼓の迫力ある演奏が融合した舞台に、満員の客席から大きな拍手が送られていました。



### 干支人形作りで交流

**干** 支の木目込み人形を作る「きらめき女性セミナー」が11月17日（土）に虹のプラザ小会議室で開催され町内の女性15名が参加しました。このセミナーはものづくりを体験しながら参加者同士の交流を楽しんでもらおうと毎年この時期に行われているものです。

参加者は講師の吉田弘美さん（東町）指導のもと、桐の粉を固めて作った型に色鮮やかな布を押し当てて飾り付ける木目込み人形の手法で来年の干支「亥」の人形作りを楽しみました。参加者らは会話を弾ませながら、赤や金色の布を用いて華やかかわいらしい人形を作っていました。



### 親子で楽しむ子育てフォーラム

**子** 育てぴよんぴよんフォーラム in 大石田が11月18日（日）に虹のプラザ中会議室で開催されました。これは子育てサークル「小さなおもちゃばこの会」（吾妻満代表）が主催して毎年行われています。

イベントでは京都市で玩具店を営む岩城敏之さんによる、世界のおもちゃで遊びながらおもちゃとのかかわり方を学べるワークショップや、児童書作家の杉山亮さんによる「ものがたりライブ」が行われました。会場にはパズルやトランプなどたくさんのおもちゃが用意され、町内外から参加した親子100人が手に取って遊んだり、お話を聞いたりして存分に楽しんでいました。



### そばを楽しむバスツアー

**北** 村山高校家庭クラブ「そばガールズ」が主催する体験型イベント「そばと大石田を楽しむ体験ツアー」が11月17日（土）に開催されました。同クラブでは年間を通して地域の食材そばを使った料理レシピの開発や染め物などに取り組んでいます。

ツアーには町内外から約20人が参加し、町内の名所をバスで巡りながら、あつたまりランド深堀でそば打ち、KOE no KURAではそば殻を用いた染め物を体験しました。染め物体験では参加者が高校生の説明を聞きながら、つまようじや割り箸を使って生地に絞りの模様を入れ、そば殻を利用した染液に浸して独特の風合いのハンカチを作りました。

